



きらめく風

ホームページ

携帯サイト→



すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

オリンピックの夢

校長 清水 誠

東京2020オリンピックでのアスリートの活躍は、多くの人々に感動と勇気を与えました。幼少の頃から一つのスポーツにひたすら打ち込んできた経歴や、その背景にある家族の支えを想像すると、選手一人一人がさらに輝いて見えてきます。自分の夢に向かって努力し続けることの大切さを改めて感じさせられました。しかし一方で、アスリートは、常に勝敗によって一気に夢を奪われるという瀬戸際に立たされ、戦い続けているということも忘れてはなりません。

戦没者追悼式が行われた日のある報道番組で、26歳で戦死したオリンピックの話が目にとまりました。1964年の東京オリンピックより前の1940年に、東京での大会が予定されていたのをご存知でしょうか。陸上短距離選手の鈴木 聞多（ぶんた）は、私と同じ埼玉県川島町の出身です。オリンピック選手となることを夢見て努力してきた聞多は、日の丸を背負って1936年のベルリン大会に向かいました。得意とする100mでは、4人の選手と同タイムでゴールしたものの、写真判定で予選落ちとなりました。この失敗を取り返すため、続く200mを棄権し、400mリレーに全てを懸けました。しかし、第2走者の聞多へのバトンパスがうまくつながらず、痛恨の失格となってしまいました。帰国後、聞多は4年後に自国開催される東京オリンピックで雪辱を果たすべく、猛練習に励みました。ところが、日中戦争が勃発し、1940年の東京大会は「幻のオリンピック」となってしまったのです。

夢を失った聞多の悲劇はそこから始まります。オリンピックとしての「日本のために」という熱き想いは行き場をなくし、祖国日本のために戦場で戦うことを決意しました。陸軍への入隊を自ら志願した聞多は、中国山岳地帯での激しい戦闘に向かい、わずか26年の生涯を閉じることとなりました。今も川島町に残る鈴木家の墓には、「皇国青年の士気を昂揚す」と当時の陸軍大将から贈られた言葉が深々と刻まれています。日本の期待を担って活躍したオリンピックの死が、当時の国民に対する戦意高揚のために利用されたように思えてなりません。

今回のオリンピックでも、勝利したのはほんの一握りの選手たちでした。多くの選手が破れ、夢を砕かれました。銀メダルになった選手さえも、悔し涙を流して表彰台に上がった姿が見られました。男子400mリレーでは、第2走者にバトンが渡らず、奇しくも85年前と同じことが起こりました。しかし、競技が終わった後、「1個の目標だったら、全部終わっちゃうの悲しいじゃないですか…だから、いっぱい目標をもっています。」と、気持ちを切り替えて話す選手らの顔を見て安心しました。選手たちの夢は、まだまだ続いていきます。

～ 子ども達の

水泳指導

今年度の水泳指導は、着替えや準備・整理運動では距離をとり、水の中でも話をしないなど、コロナ対策を講じながら学習を進めました。次年度につなげるために、学習の基本的な流れや運動の仕方は、各学年とも共通の内容となるように、教員間で事前に共通理解を図って指導に臨みました。天候等の関係で、3年生以上の学年で1回ずつ行って終了することになりました。実施できた学年の様子を見ると、気持ちよさそうに水に親しむ児童もいれば、1年間のブランクの影響もあり戸惑って泳ぐ児童も見られました。

次年度、通常通りの水泳指導が再開されたら、前学年の学習内容に戻ったり、動き一つ一つの指導に時間をかけたりと、より丁寧に指導することを心がけて児童の泳力を高めていきたいと思います。



2年生 お巡りさんの出前授業 (7/7)



生活科の「まちが大すき たんけんたい」の学習で、旭町駐在所や光が丘警察署のお巡りさんに来ていただき、出前授業を行いました。実際に使っている道具を見せていただきながら、お話を聞くことができました。いくつかの道具も持たせていただき、実物に触れながら説明を聞きました。

「こんなに重いんだね。」「とても丈夫にできているんだ。」「テレビで見たことがあるけれど、初めてさわった。」など、驚いたことや気付いたことがたくさん見つかり、子ども達は、目を輝かせていました。

その後、話を聞いたりインタビューをしたりしてわかったことを、各自が新聞にまとめました。旭町の町をパトロールしたり、相談にのって話を聞いたりして、毎日人々のために働いているお巡りさん達に、感謝の気持ちをもつことができました。

ユニセフ募金 (7/9～12)

7月9日(金)、10日(土)、12日(月)の3日間に渡り、代表委員会の子ども達を中心とした募金活動が行われました。

代表委員会では、世界中の貧しい子ども達のために少しでも募金への気持ちを広めようと考え、集会での呼びかけやポスター作成に取り組みました。ユニセフ集会では、教育を受けられない子ども達が世界中にたくさんいることなどを中心に全校児童に伝え、募金の大切さを呼びかけました。3日間とも、たくさん子ども達が募金箱の前に集まる様子が見られました。

募金活動を通して、子ども達は恵まれた環境で教育を受けていることを実感したり、改めてお金の大切さに気付いたりすることができました。今年は53,627円もの募金が集まりました。募金してくれた子ども達や、ご協力いただいた保護者の皆様に感謝いたします。



学校生活～

2年生 トウモロコシの皮むき (7/13)

生活科「やさい名人になろう」の学習に関連して、とうもろこしの皮むき体験を行いました。以前体験したグリーンピースの時とは違い、とても力がいる作業です。皮むきをする前に、栄養士さんからの説明を聞きました。とうもろこしについてのクイズにも挑戦しました。「とうもろこしのひげの本数と粒の数は同じか」という〇×クイズでは、意見が真っ二つに分かれました。皮に包まれた状態のとうもろこしを見たことがない子ども達が多いのだなと感じました。また、皮むきをする中で、一粒一粒の大きさや色が違うこと、さらには皮の色の変化にまで気付いていた子がたくさん見られました。

当日は、給食のメニューに茹でたとうもろこしが出され、全校で味わいました。とても甘くておいしそうに食べている様子が見られました。



学力補充教室 (7/21～27)



生活科「やさい名人になろう」の学習に関連して、とうもろこしの皮むき体験を行いました。以前体験したグリーンピースの時とは違い、とても力がある作業です。皮むきをする前に、栄養士さんからの説明を聞きました。とうもろこしについてのクイズにも挑戦しました。「とうもろこしのひげの本数と粒の数は同じか」という〇×クイズでは、意見が真っ二つに分かれました。皮に包まれた状態のとうもろこしを見たことがない子ども達が多いのだなと感じました。また、皮むきをする中で、一粒一粒の大きさや色が違うこと、さらには皮の色の変化にまで気付いていた子がたくさん見られました。

当日は、給食のメニューに茹でたとうもろこしが出され、全校で味わいました。とても甘くておいしそうに食べている様子が見られました。

サクラ草の栽培について

5月から学校の中庭を利用して、サクラ草を種から育てています。ブリムラ・マラコイデスという西洋サクラ草の一種です。現在は、たくさん発芽した苗をビニールポットに一つずつ鉢上げしているところです。全校児童分のポット苗ができています。

今後は、全校児童でサクラ草の栽培に取り組み、一人一鉢ずつ育てていく予定です。9月下旬から10月にかけて、クラスごとに植え替え作業を行います。低学年は、生活科で使用している鉢を使います。3年生以上は、6号のプラスチック鉢（100円）を一括購入させていただきます。

サクラ草は寒さに強く、12月から4月上旬まで花を楽しむことができます。学校全体をたくさんの花で彩るとともに、植物を大切に育てる気持ちを育てていきます。また、高学年は学校用の鉢の植え替え作業も行い、卒業式や入学式の式場を飾る鉢花としても栽培していく予定です。



< 9月の行事予定 >

9月の安全指導内容「けがをしないように運動しよう」

日	曜	相	行 事
1	水		始業式 給食始 個人面談希望調査一斉配布
2	木	◇	学 安全指導 5年身体計測
3	金		読 登校指導
4	土		
5	日		
6	月	◆	読 あいさつ運動① 4年2組学力向上を図る調査
7	火	◆	全 あいさつ運動② 6年身体計測 4年1組学力向上を図る調査
8	水		学 あいさつ運動③ 1・2年身体測定 5年・6年1組学力向上を図る調査
9	木	◇	児 3・4年身体測定 6年2組学力向上を図る調査
10	金		読 5・6年身体測定 3年歯磨き巡回指導 ※給食費教材費引き落とし
11	土		読 避難訓練
12	日		
13	月	◆	特別時程 5時間授業 個人面談①
14	火	◆	特別時程 5時間授業 個人面談② 3年こころのふれあい相談員面接
15	水		特別時程 5時間授業 個人面談③ たてわり班会議 (4校時)
16	木	◇	特別時程 5時間授業 個人面談④
17	金		特別時程 5時間授業 個人面談⑤
18	土		
19	日		
20	月		敬老の日 (開校記念日)
21	火	◆	読 個人面談⑥ (予備日) 3年こころのふれあい相談員面接
22	水		学
23	木		秋分の日 
24	金		読
25	土		
26	日		
27	月	◆	全
28	火	◆	読 3年こころのふれあい相談員面接 4年パラリンピックスポーツ出前授業
29	水		特別時程 4時間授業 校内研究会 (5校時) 3年1組研究授業
30	木	◇	音 6年 移動教室説明会

全 全校朝会 音 音楽朝会 児 児童集会 体 体育朝会 学 朝学習 読 朝読書
◆:心のふれあい相談員(秋葉先生) ◇:スクールカウンセラー(山邊先生)
*行事予定は変更になる場合があります。学年だより等でご確認ください。

児童・生徒の学力向上を図るための調査

調査学年：4～6年

調査内容：学びに向かう力等に関する意識

調査方法：タブレット端末を用いて web 上で回答

調査時期：9/7(火)～9/9(木)

*各クラスの調査日は学年

だよりをご確認ください。



個人面談について

《日時》 9月13日(月)～17日(金)

・特別時程 5時間授業 14:00～

9月21日(火) 予備日

・通常時程 放課後※担任とご相談ください。

《場所》各教室

《内容》○夏休みの様子、学習の様子、生活の様子、友人関係など

《注意》

*新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、検温、マスクの着用をお願いします。

*名札の着用と上履きの持参をお願いします。

*自転車での来校は、ご遠慮ください。

一斉防災訓練(引き渡し訓練)中止のお知らせ

9月11日(土)は、区一斉防災訓練の日です。大きな災害が起きたことを想定して、旭町小学校では、毎年、全学年を対象として引き渡し訓練を行っております。

しかしながら今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止いたします。

ぜひ、ご家庭においても災害時の約束事等についてご確認いただければと思います。

<9月の生活目標>

進んで仕事をしよう

旭町小学校には、当番・係活動、委員会、クラブ、たてわり班など様々な活動があり、子供たち一人一人に役割があります。進んで仕事を行うためには、やはり周囲からの励ましの言葉が大切と考えます。「ありがとう」「がんばったね」などの声かけがあると、子供たちは「やってよかった」「次もがんばろう」と達成感を得て、前向きな気持ちになります。

ご家庭でも、学校と同様な役割を果たす場面がありましたら、ぜひ温かい言葉をお子さんにかけていただきたいと思います。